

石川町文化協会だより

第71号

石川町文化協会

石川町関根165
石川町公民館内
☎0247-26-2566
発行責任者：鈴木 茂

令和6年度石川町文化協会総会開催

令和6年度事業方針

会員の視野拡大を目指しながら、民間諸団体、行政機関との連絡調整を密にし、地域の文化向上のための活動を推進する。

事業項目

- ① 町民を対象にした文化事業
- ② 会員の研修(研修旅行、会員研修)
- ③ 「地球環境保全運動」の推進
- ④ 町総合文化祭への参加
- ⑤ 文化協会活動の広報(文化協会だよりの発行)
- ⑥ 文化協会加盟団体の後援
- ⑦ その他、必要と認められる事業

令和6年3月30日(土)モトガッコにおいて、石川町長、石川町教育長を来賓に迎え、令和6年度石川町文化協会総会が開かれた。

議事は柄沢節子議長(古文書の会)で進行され、協会発展のための意見が活発に交わされた。

令和5年度事業報告、会計報告が承認され、続いて令和6年度事業計画案、予算案が可決された。

町民の皆様へも呼びかけながら、石川町の文化事業をさらに推進していくことを承認。加盟団体は、23団体となります。

文化活動振興の担い手として
石川町文化協会会長 鈴木 茂

石川町文化協会に對しまして、町民の皆様には日頃よりご支援、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

コロナの時期より落ち着きを取り戻しつつあるこの頃、本協会団体の皆様も、それぞれ本格的に始動し始めております。

振り返ってみれば、活動規制が強まっていた頃は、集まれず声を出さずの日々。どうやって文化を繋ぎ、高めていけるのかを考えさせられた時もありました。

そして、コロナが明け、久しぶりにお会いし、また、元気を共に喜び合うことができました。人間らしく生きていくためには、人は人の中で生きていくことが必要不可欠な術であると確信を持ちました。人の心は歌ったり、話したり、鑑賞したりすることが大切な心の栄養剤となつていきます。

石川町の文化を、みんなで手を繋ぎ高め合っていくきましょう。心の花を美しく保つために。ここに文化協会の役割があると自負しております。

今後とも、町民の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

予告 令和6年度文化協会音楽事業 ラテンオーケストラ・エストレージャ 公演

- ・日時 令和6年11月17日(日)
- ・開演 午後2時~
- ・場所 共同福祉ホール
- ・入場料 2,000円

みんなで歌って、踊って楽しもう!



読んでみませんか、この一冊

48

「希望の一滴」〜中村哲 アフガン最後の言葉〜



作 中村 哲
推薦者 郷 徹

アフガニスタン・ジャララバードで2019年12月4日、中村哲医師(当時73歳)が乗った車が武装集団に襲撃され、中村医師を含め6人が死亡した。中村医師は、干ばつや戦乱で荒廃したアフガニスタンで、医療や灌漑事業による復興支援に力を尽くしていた。

本書には、中村医師の珠玉の言葉が溢れている。

「百の診療所より一本の用水路を」

「提唱するのは、人権や高慢な理想ではなく具体策である」

「必要なのは思想ではなく、温かい人間的関心であった」

数ヶ月前に、中村哲医師の映画を鑑賞する機会を得た。感動的な映画だった。本書は、ユニセフのマンスリーサポーターを続けている私にとっても、得難い覚醒的な本の出会いとなった。

私も三十代の後半から「一隅を照らす」の精神で生きてきました。しかしながら、他人様との誤解や葛藤も生じました。これらを踏まえて、生ある限り恩返しをしたいです。

濁流に沃野を夢見る河童かな 中村 哲
梅雨明けや戦争止める手立て無し 郷 徹

(石川町立図書館にあります。)

令和6年4月27日『イシニクル』移転オープンしました!!

新・石川町立歴史民俗資料館

資料館に入ると、ロボット君がお出迎え。石川町のなりたち、大地と人々がおりなす映像、自由民権の上映。町の地質や鉱山の歴史、石にまつわる戦争と平和についての展示等。わが町を楽しく、深く学べる場所ができました。

今後は、狛犬の特別企画展(令和6年11月2日~令和7年1月13日まで)も開催の予定。歴史と文化の発信基地となっていくことでしょう。



歴史・民俗・鉱物 etc
発見がいっぱい!!



私の名前は
テミです!
展示室を案内
します。



編集後記

時の流れとともに加盟団体が減少傾向の中、文化活動が継承されていることに安堵しています。

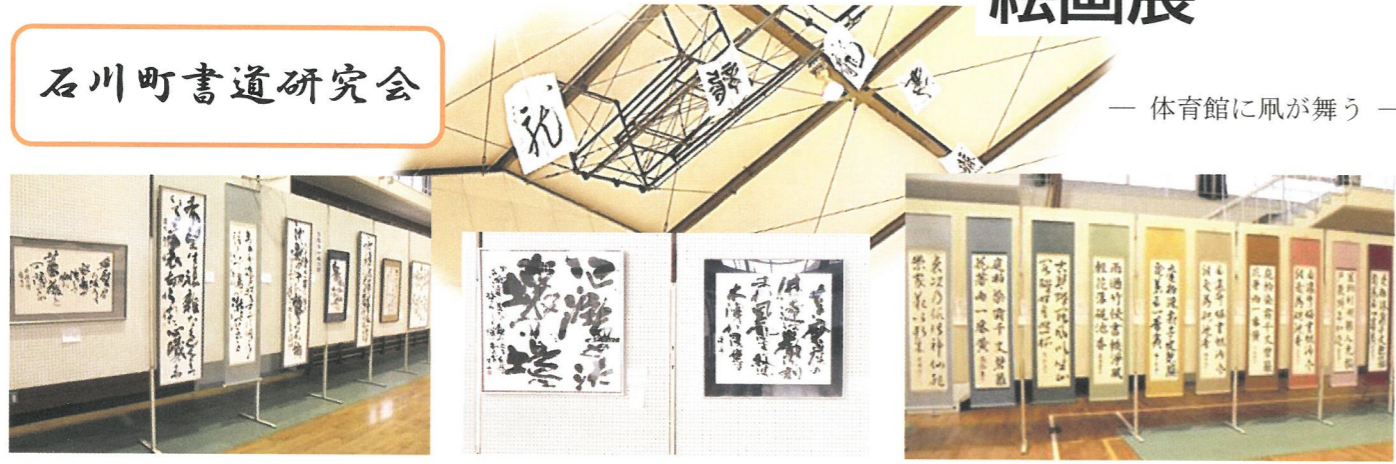
今夏の猛烈な暑さの先は、先達の灯を絶やすことなく、実りの秋を楽しみたいものです。

(S)

いしかわ桜谷スプリングフェスタ

桜書展 絵画展 開催

石川町書道研究会



— 体育館に凧が舞う —

今回の展示内容につきましては、会員56名の大、小の作品と50名の学生作品が並びました。今回は新しく中央に二つのテーブルに仮名と詩文書の折帖作品が、天上には千支に合わせた「龍」の文字が揮毫された凧が上り、中央前には、生花を活けて頂き桜花の変わりになったようです。

くもり空にもかかわらず、入場者300名の方々に鑑賞して頂くことが出来安堵しています。

日本の文化「書」です。多くの方々に会場に足を運んで頂いたことに会員一同嬉しく思っています。次回展覧楽しみに。

桜書展を開催して
石川町書道研究会
代表 円谷一美

桜花の季節 4月5日
6日迄 第五回桜書展を町体育館に於いて開催をいたしました。天候不順により桜前線が遅れてしまい、周囲に桜のない書展となってしまいました。

心ほどける やまがたを味わおう



— ガイドの説明を聞く皆さん —

令和6年6月29日(土)、山形方面への研修旅行が行われた。41名の参加であった。当日は、天気予報予想外?の晴天、暑い一日となった。まず、南陽市にある熊野大社へ向かった。日本三大熊野神社の一つとされ「東北の伊勢」と言われている。茅葺屋根の勇壮な建物に圧倒された。大社の裏には、「縁結び」の三羽の兎の彫刻が彫られていて、三羽の兎を見つけると幸せになれると言われていた。

その後「双松バラ園」へ。南陽市街が一望でき、雄大な眺めであった。旅のもう一つの楽しみは、買い物と食事。「高島ワイナリー」では、お気に入りのワインを購入。「旬彩厨房 たかはたの家」では山形牛のハンバーグ定食。山形の郷土料理に皆満足の様子だった。

続いて「上杉博物館」を見学。いにしえの古物が展示されていて、「上杉本洛中外図屏風(レプリカ)」は桃山時代を代表する、狩野永徳図。織田信長から上杉謙信に贈られたものである。

帰りは「道の駅米沢」から東北中央道へ。車中はゲームで楽しみ、眠る間もなく18時にモトガッコに着。盛りだくさんの研修旅行でした。



— 兎がなかなか見つかりません —

心ほどけたやまがた研修旅行

竹貫 麻奈美

「今度の山形研修旅行、一緒に行かない?」母からの誘いを受け石川町文化協会の研修旅行に初めて参加しました。

旅のテーマは「心ほどけるやまがたを味わおう!」モトガッコを出発し東北道を通って山形に入り、まずは日本三大熊野神社の一つとされる南陽市の熊野大社へ。

県内最古の茅葺屋根とされる荘厳な拝殿にも圧倒されましたが、案内して下さった方に教えてもらった、本殿裏に隠し彫りされた三羽の兎を探すのに夢中になってしまいました。

次の双松バラ園では咲き誇る約六千本の薔薇と、園から一望出来る南陽の街並みを堪能しました。当日は初夏の快晴、炎天下に負けて早々に休憩所に逃げ込み、売店で売っていた薔薇のジェラートで涼みました。

食事休憩の後は高島ワイナリーで試飲や買い物を楽しみ、それから上杉博物館へ行き、上杉氏と米沢の悠久の歴史を感じる事ができました。

帰りのバスではビンゴやじゃんけんなどゲームの時間が用意されており最後まで楽しく過ごせました。

初めての参加でしたが、皆さんと笑ったり話したり学んだりとても実りのある一日で、ぜひまた参加させていただきたいと思いました。

石川絵画クラブ紹介

代表 添田京子

現在、石川絵画クラブは会員11名で活動しております。春は、4月の「いしかわ桜谷スプリングフェスタ」に合わせて絵画展を開催致しました。また、秋には町文化祭にて、「小品展」をし、皆様に鑑賞していただいております。他に県内外の展覧会にも出品し入賞している方もおります。

例会では、町内外のスケッチ等にも出かけ、親睦を深めております。これからも地域の文化の一端を担えるよう努力して参ります。会員募集中です、一緒に絵画の世界を楽しみませんか。

石川町絵画クラブ

